

# はまなす



令和4年10月20日  
四倉高校図書館だより第4号

## 【ビブリオバトル浜通り大会優勝】

10/1(土)南相馬市小高区の浮舟文化会館において、第8回ビブリオバトル福島県大会浜通り地区予選会が開催されました。いわき地区・相双地区の高校から19名が参戦し(本校からは3年金成堅心君と2年伊藤美姫さんが参加)、予選・決勝を経て2年2組の伊藤美姫さんが見事優勝。12/3(土)開催の福島県大会のキップを手に入れました。大勢の観戦者の前で堂々と自分が薦める本を紹介する二人の姿は、とても頼もしく誇らしく思いました。発表後には紹介した本についての質問タイムがあり、『47都道府県女ひとりで行ってみよう』を紹介した伊藤さんには、私たちが住んでいるいわきについての質問がありました。さて、皆さんは自分の住む地域についてどのくらい知っていますか？また学校がある四倉についてはどうでしょう？職員室西側のところには、家庭科クラブの皆さんが調べた「地域を知る・四倉の歴史」が掲示されています。とても読みやすく簡潔にまとまっていますので、まだの人は是非読んでみましょう。

## 『四倉の歴史と傳説 いわき北部史』

本多徳次/著

書名からもわかるように四倉に関することがすべて網羅されています。現在使われている地名の由来やそれにまつわる伝説、町の歴史の移り変わりがわかる貴重な写真など、郷土に関心のある人には宝物のような本です。

## 『首長竜のふるさと 首長竜・巨大アンモナイト・古代クジラ化石の発掘記録』

草野日出雄/著

四倉高校の図書館には2体のクジラがいます。なぜ？と思う人はこの本を手にとってください。いわきから日本初の首長竜の化石が発見されたときの市民の驚きを、リアルタイムで体験している家族の人もいるのではないのでしょうか。当時の町の賑わいや人々の様子など面白い話が聞けるかもしれません。

初対面の人や共通の話題がないときは、郷土の話をしてみませんか？自分のことを知ってもらいたい機会にもなります。また身近な人に昔のことを聞く事も大事なことです。年齢の離れた人との会話には、自分とは違う視点の新鮮さがあります。自分の住む地域についての本(郷土資料)は図書館にもあります。進路でいわきを離れる人は、居住する地区の図書館に行くことをお勧めします。「郷に入っては郷に従え」地域についての知識が増えるとより快適な生活を送ることができます。

文化の日をはさんで10/27～11/9の2週間は読書週間です。本から得る知識と教養、そして至福の時間は自分を守る盾にも矛にもなります。たくさん本に触れ経験値を増やして豊かな人生を歩んでください。